

シリーズ「見守り活動紹介」⑥

— 第二小学校、第五小学校、第九小学校 —



第二小学校

第二小学校は、曙町第1班と第2班、高松町・緑町第3班が担当しています。3つの班の活動参加人数は約45名で、1日平均10名前後が参加しています。

第二小学校の周囲は一方通行路が多く、また「シネマ通り」など車道・歩道とも狭いなかで車や自転車の通行量も多く、児童の登下校には危険箇所が多くなっています。見守り場所には、学校の校門前、周辺の十字路、競輪場付近など一方通行路の出入口、横断歩道などを設定しています。



活動参加者は、各班でローテーションを組んだり、就業やその他の都合に合わせて参加していただくことを基本としています。

〔班長からひとこと〕

曙町第1班班長

狭い路地など事故が起きないのが不思議なくらいですが、わたしたちが見守り活動している10年以上、事故に遭ったことがありません。日頃からの子どもたちへの注意喚起に気を使いながら、これからも児童が安心して通行できるよう会員の皆様の活動へのご協力をお願いします。

曙町第2班班長

会員の皆様、いつも早めにお集まりいただき感謝申し上げます。毎年感じるのですが、1年生の何とかかわいらしいこと！路上で「あ、シルバーのおじさんだ、いつもありがとう」

と声をかけていただき嬉しいかぎりです。今年度の目標は、今まで参加されていない会員の方々に参加していただくことです。これからも子どもたちと地域の安全のために頑張ってください。

高松町・緑町第3班班長

見守り活動参加会員の皆様には、コロナ禍での見守り活動ありがとうございます。3年前に比べて活動参加者は若干減っております。早く以前の状態に戻り、多くの会員の皆様の見守り活動への参加を希望します。

児童の「さようなら」の元気な声、通行されている保護者、競輪場の交代警備員、交番勤務交代の警察官の皆様の「ご苦労様」の声に励まされています。

第五小学校

第五小学校は、高松町・緑町第1班と第2班、栄町第2班が担当しています。3つの班の活動参加人数は約35名で、1日平均10名前後が参加しています。

高松町・緑町第1班は小学校周辺、第2班は北東側から芋窪街道、栄町第2班は芋窪街道を歩道橋等で渡る周辺を担当しています。

立川通り、高松バイパス、芋窪街道と交通量の多い幹線道路に囲まれており、交差点・横断歩道では事故が起きないように手旗と声かけで見守っています。また、車やバイクの右左折・直進など気をつけなければならないことも多く、児童には一旦立ち止まってもらい、安全を確認してから横断歩道を渡ってもらうようにしています。



高松町・緑町第1班と第2班では、学校のポストに参加名簿を置かせてもらい、毎回参加者が記名した上で、見守り場所に向かっています。栄町第2班では、スマートフォンを持っている方とはグループLINEを活用し、活動スケジュールの

配信など情報交換もしています。

〔班長からひとこと〕

高松町・緑町第 1 班班長

本年 4 月から班長を引き継ぎ、戸惑うことも多い中、見守り活動に参加して下さっている皆様には感謝申し上げます。見守り活動は、ご自分の体力と都合のつく範囲内で無理をなさらず継続して参加していただくことにかまいません。まだ参加されていない方も、月に 1 度でも構いません。ひとりでも多くの方に参加していただくと幸いです。

高松町・緑町第 2 班班長

そろそろ 1 年生も慣れてくる頃で、道草しながらの下校となり、急に走り回る子、道いっぱいに広がるなど注意喚起しながらの見守りをよろしくお願いします。要望としては、学校側との連絡方法を構築してほしいと思っています。会員の皆様には、健康に十分注意して無理をなさらずご参加をお願いします。

栄町第 2 班班長

現在、見守り活動をしている場所、それは見守り活動をしていないと交通安全上危険と思われる区域です。街道に信号があっても路地の出入口にある横断歩道には信号がなく、車やバイクの右左折・路地からの直進には、児童を停めて安全に通行してもらっています。今後も事故がないよう引き続き気を引き締めて見守り活動を続けたいと思っています。



第九小学校

第九小学校は、砂川町第 1 班と上砂町地区班、一番町・西砂町第 1 班が担当しています。活動には、3 班合わせて 1 日に約 10 名～15 名が参加しています。

活動形態は、定点見守りと同行、砂川町方面は「ピンクコース」、上砂町方面は「みずいろコース」、一番町方面は「オレンジコース」、ピンクとみずいろは定点、オレンジは同行です。

小学校の周辺には五日市街道など交通量の多い幹線道路があり、「砂川三番」の交差点や 2 車線道



路の長い横断歩道などは特に神経を使う場所になっています。



〔班長からひとこと〕

砂川町第 1 班班長

就業されていない方も積極的に参加いただいていることに、ただただ感謝するばかりです。地域の子もたちが元気に登下校する姿に私たちも元気をもらっているようです。活動の集合場所で、近況を話し合ったりの雑談も楽しみのひとつになっています。



上砂町地区班副班長(第九小学校担当)

入学直後の初々しい新 1 年生も、夏秋冬と月を重ねるごとに逞しく成長していく姿は、ほほえましく思います。毎年 3 月の修了式頃には『感謝のことば』という葉が作られ、ひとりひとりが「お礼のことば」を我々に寄せてくれます。

「天気のわるい日も、みまもってくれてありがとうございます。体に気をつけて、がんばってください」とねぎらいの言葉とか、「新 1 年生も、ぼくたちみたいに、よろしくめんどろみてくださーい」と兄貴ぶった頼もしい言葉も…

一番町・西砂町第 1 班班長

毎年恒例になっているようですが、3 月末の 1 年生修了時、全児童から感謝状をいただきます。感謝のことばに、各児童思い思いの絵を描いてくれます。4 月の入学時、何事につけてメソメソ泣いていた新入生が 3 月の修了時になると口のきき方もすっかり成長していて、感動する一コマもあります。

